

# 佐竹南家 御日記

## 第十八卷

自 享和三年 至 文化三年

「佐竹南家日記」は、湯沢の所預であった佐竹南家の御用座において、天和二年（一六八二）から慶応四年（一八六八）まで書き継がれた公用日記です。地方武士の暮らしや農業、商業、交通、宗教、気象などが詳細に記され、当時の社会事情を知る貴重な近世史料です。

本書は、これを活字化したもので、享和三年（一八〇三）正月から文化三年（一八〇六）十二月までの四年分を収録しました。

- ① 近習たちに、町での素行を正すよう申し渡す。（享和三年正月）
- ② 藩庁より御兵具調査が命じられる。（享和三年七月）
- ③ 四日夜四ツ時頃（午後十時頃）、大地震（象潟地震）が起き、久保田の御長屋が損壊する（文化元年六月）
- ④ 藩庁より家中の系図を提出するよう通達がある（組下は四月）（文化二年正月）
- ⑤ 能代湊沖に異国船が現われる（文化二年四月）
- ⑥ 町人の話によると、正月二十七日（新暦3月16日）、山谷の奥峠と集落の間の田に蛙が群れをなして押し寄せ、まるで合戦のようであったとのこと（文化三年三月）
- ⑦ 江戸の大火（文化の大火）により藩の上屋敷など三御屋敷が全焼。  
杉五百本を献上し、羽織を頂戴する（文化三年六月）
- ⑧ 九月八日（新暦10月19日）西山通に雪が降り冷気が甚だしい（文化三年九月）
- ⑨ 柳町山田屋吉兵衛の弟喜代助（羽陰住貞弘）が、鍛えた刀を献上する（文化三年十月）
- ⑩ 佐竹南家十二代佐竹義良<sup>よしざね</sup>逝去。享年六十二歳（文化三年十二月）



## 待望の第18巻発売

既刊好評発売中

第1巻～第17巻

※第2巻は完売につき御了承ください。

頒布価格 5,000円（税込）

- ・ A5判・上製・布クロス装・函入
- ・ 本文 744 ページ ・ 出版 200 部 ・ 頒布価格 5,000 円（税込）
- ・ 付録 第 18 巻全文検索用 CD-ROM 1 枚
- ・ 発行 湯沢市教育委員会  
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号  
TEL 0183-55-8193・FAX 0183-72-8515  
Mail k-bunkazai@city.yuzawa.lg.jp